学校番号	3010

令和３年度　工業科（１学年）

教科	工業	科目	工業技術基礎	単位数	３単位	年次	１年次
使用教科書	工業技術基礎（実教出版）						
副教材等	プリント等						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

４月にガイダンスを行い、実習服の着方やレポートの書き方、整列の方法などを指導します。各班約１０名を一班として、次年度以降の系選択までは各専門系（環境化学システム・機械・電気）の実習をローテーションします。

2 学習の到達目標

工業に関する基礎的な技術を実験や実習によって体験し、各分野における工業技術への興味・関心を高め、工業の意義や役割を理解し、広い視野と倫理観を養い、工業の発展をはかる意欲的な態度を身につける。

3 学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断・表現	c. 技能	d. 知識・理解
観点の趣旨	電気実験の原理や操作方法に関心・興味を持ち、その技術の修得をめざし主体的に取り組もうとするとともに、実践的な態度を身につけている。	電気的な要素で諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身につけている。	電気的な要素で各分野の基礎的・基本的な技術を身につけ、その技術を適切に活用している。	電気的な要素で各分野の基礎的・基本的な知識を身につけ、現代社会における工業の意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 自己評価　等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 自己評価・相互評価等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

ローテーション	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
パート1	電気工事①	・電気工事の基礎① ・電気工事の基本作業① ・複線図の書き方①	○ ○ ○	◎ ◎	◎	○ ○ ○	a： 電気工事の仕組みや特徴に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b： 基礎的・基本的な技術を身につけ、適切な扱い方ができる。 c： 単線図から複線図になおすことができる。 d：基礎的・基本的な知識を身につけ、電気工事の意義や役割を理解している。	授業評価 ワークシート
パート2	電子工作	・各種電子部品の特徴 ・電子工作の基礎	○ ○	◎ ○	◎	○ ○	a： 電子部品に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b： 基礎的・基本的な技術を身につけ、適切な扱い方ができる。 c： 回路図を読み取り正しくはんだつけすることができる。 d：基礎的・基本的な知識を身につけ、電子工作の意義や役割を理解している。	授業評価 ワークシート
パート3	基礎実習	・結線の基礎 ・簡単な電気回路 ・計測の基礎	○ ○ ○	◎ ○ ○	◎ ◎	○ ○	a： 計測の基本や特徴に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b： 基礎的・基本的な技術を身につけ、適切な扱い方ができる。 c： 回路図を読み取り正しく結線することができる。 d：基礎的・基本的な知識を身につけ、計測の意義や役割を理解している。	授業評価 ワークシート

パート4	電気工事②	・電気工事の基礎② ・電気工事の基本作業② ・複線図の書き方②	○ ○ ○	◎ ◎	◎	○ ○ ○	a： 電気工事の仕組みや特徴に関心を持ち、意欲的に取り組んでいる。 b： 基礎的・基本的な技術を身につけ、適切な扱い方ができる。 c： 単線図から複線図になおすことができる。 d：基礎的・基本的な知識を身につけ、電気工事の意義や役割を理解している。	授業評価 ワークシート

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重みつけを行う観点）について〇をつけている。